

安全就業だより



公益社団法人 水戸市シルバー人材センター

令和8年7月1日発行

令和7年度・8年度の安全・適正就業スローガン

シニアです 焦らず無理せず 油断なく ゆとりを持って 安全作業

[優秀作品] 会員番号No.4317 船生 敏司 会員

7月は、「安全・適正就業強化月間」です



当センターは、一年間を通して安全就業に努めていますが、毎年7月は「安全・適正就業強化月間」と定め、組織一丸となって「事故発生ゼロ」に取り組めます。

「安全はすべてに優先する」「安全無くして就業なし」をモットーに、安全就業、健康管理及び交通安全の確保に努めます。

同様に適正就業においても、法令遵守以外に「安全」に関するものもあります。「安全就業」と「適正就業」の徹底は、皆さんの安全や健康を守るだけでなく、皆さんの関わる全ての人を守ることになります。

安全・適正就業基準を厳守してください。強化月間中は、以下の内容を特に注意して事故防止に努めるようお願いします。

《交通事故防止》

- ・自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着用する。
- ・自転車走行時は、左側通行をする。
- ・その他交通ルールを遵守して、交通事故に注意して運転する。



《熱中症対策》

- ・普段以上に栄養バランスの良い食事を心がけ、必ず朝食をとる。
- ・屋外作業においては、必ず日よけのための帽子を着用する。
- ・塩分、ミネラルを含んだ水分をこまめにとる。



※「返事がおかしい」「自力で水が飲めない」ときは、直ぐに救急隊を要請してください。

シルバー会員募集中！

60歳以上の市民の方、あなたの豊かな経験と能力を活かしてみませんか？
水戸市シルバー人材センターのホームページにアクセス（右 QRコード）



令和8年度事故発生状況について

【令和8年度5月末までの累計報告分の内容】

No.	性別等	区分	就業内容	事故の状況	現状
1	男性 78歳	就業中 (入院)	残材処理	残材をダンプに積み込んだとき、誤って荷台から落下し腰を強打したものを。	通院中

熱中症予防について

人は平熱に保つため、暑い環境下では汗をかいて熱を外に逃がします。しかし、体に十分な水分や塩分がなく汗を作れなかったり、血流が滞ったりすると、熱中症になってしまいます。

歳を重ねると、熱中症になりやすくなる傾向にあります。熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者といわれています。

熱中症は、事前に対策をして予防できます。以下のことに注意して熱中症の予防に努めてください。

- ・熱を吸収する黒色は避け、汗をよく吸う素材の服を着る。
- ・ぬるめのお湯(38℃前後)に10～15分程度つかる。
- ・のどの渇きを感じる前に水分を摂る。
- ・入浴時や睡眠時も発汗するため、その前後に水分を摂る。
- ・作業に集中すると、暑さやのどの渇きに鈍感になるので、こまめに休憩するよう意識する。
- ・日ごろから運動して、汗をかく習慣をつけておく。
- ・緊急時の連絡先を決めておく。(症状が重症化する前に、直ぐに助けを呼ぶことができる。)



蜂に注意を！！

蜂が活発に活動する時期になります。蜂は無差別に攻撃してくるのではなく、巣に近づいた対象物(人等)に対して警戒のために威嚇し攻撃してきます。



● 注意することは！！

蜂が周囲を飛んでいるか確認してから作業を行ってください。肌などを露出していると狙われるので長袖シャツを着用する。

● 特にアレルギー体質の方は！！

刺されてアナフィラキシーショックになり、命にかかわる可能性があるため十分な注意が必要です。蜂を発見したときは低い姿勢でゆっくりとその場を離れましょう。

● 刺されたときは！！

傷口を強く絞りながらきれいな水で洗い、幹部に薬(アンモニアは効果がありません。)を塗って下さい。事前にハチ避けスプレーを用意しておくことも良いと思います。もし、発疹、せき、嘔吐、下痢などの症状が見られたときは、医者の手当てを受けてください。



高齢者の交通事故防止について



令和8年4月末現在、茨城県内で発生した「高齢者の関係した交通事故発生状況」は、発生件数814件(前年比19件増)、死者数26人(前年比10人増)、全事故に占める件数の割合は40%、死者数は66%となっているようです。また、事故の多くは車両による(同乗含む)もので、午前10時頃が最も多い(死亡事故においては18時頃が最も多い)状況です。

会員の皆さんには以下のことに注意して、安全に生活していただくようお願いします。

1. 歩行者の方へ！！

●道路を横断するときは、遠くでも横断歩道を利用し、左右をよく見て、安全を確認して横断しましょう。また、その際は手を上げるなどハンドサインを活用して、ドライバーに横断する意思を伝え、車が止まるのを確認してから安全に横断しましょう。

●走行車両の直前・直後に横断することや、渋滞で停止している車の間から道路を横断することは、車の死角に入り大変危険ですので絶対にやめましょう。

●早朝や夕方夜間の外出の際は明るい色の服装や反射材を着用しましょう。



2. 自転車を利用される方へ！！

●自転車は軽車両です。車道を通行する際は一番左側を走りましょう。また、車道と歩道の区別があるところでは車道通行が原則ですが、自転車通行可の標識があるとき、又は70歳以上の方は、歩道通行が可能です。(ただし、その際も、歩行者優先で徐行し、安全な速度と間隔を保つ必要があります。)



3. ドライバーの方へ！！

●自動車を運転する際は、危険の予測と安全な判断がとても重要です。駐車車両や障害物の影にも人がいることを予測して、人が突然飛び出してきたときも安全措置がとれるような運転をしましょう。

●加齢により身体能力や判断能力は低下する傾向があることを自身が理解することが重要です。運転中に疲れや眠気を感じたら運転を中止し、休憩を取りましょう。



職群班との意見交換結果の報告について

安全・適正就業委員会では、委員会が取り組む安全対策実現について、各職群が行う全体会議(2月除草班、3月植木班、4月刈払班)に出席し、現状把握と安全就業の意識について共有を図りました。事故発生時早期対応するため、作業日程の事前連絡を提案しましたが、屋外作業は天候により変更が多く、事前の連絡は難しいとのことでした。そこで、最低限ご家族に作業現場を教えること、携帯電話は常につながるようにして身に着けるようお話ししました。

事故対応を考え、一人作業は極力なくすことで考えていただき、熱中症の対策については「熱中症対策フロー図」を配り、対応について説明をしました。また、植木班には、落下防止のため閉じ止め金具を装着した脚立を利用するよう説明しました。



作業の安全確保のために ～危険予知訓練(KYT)の勧め～

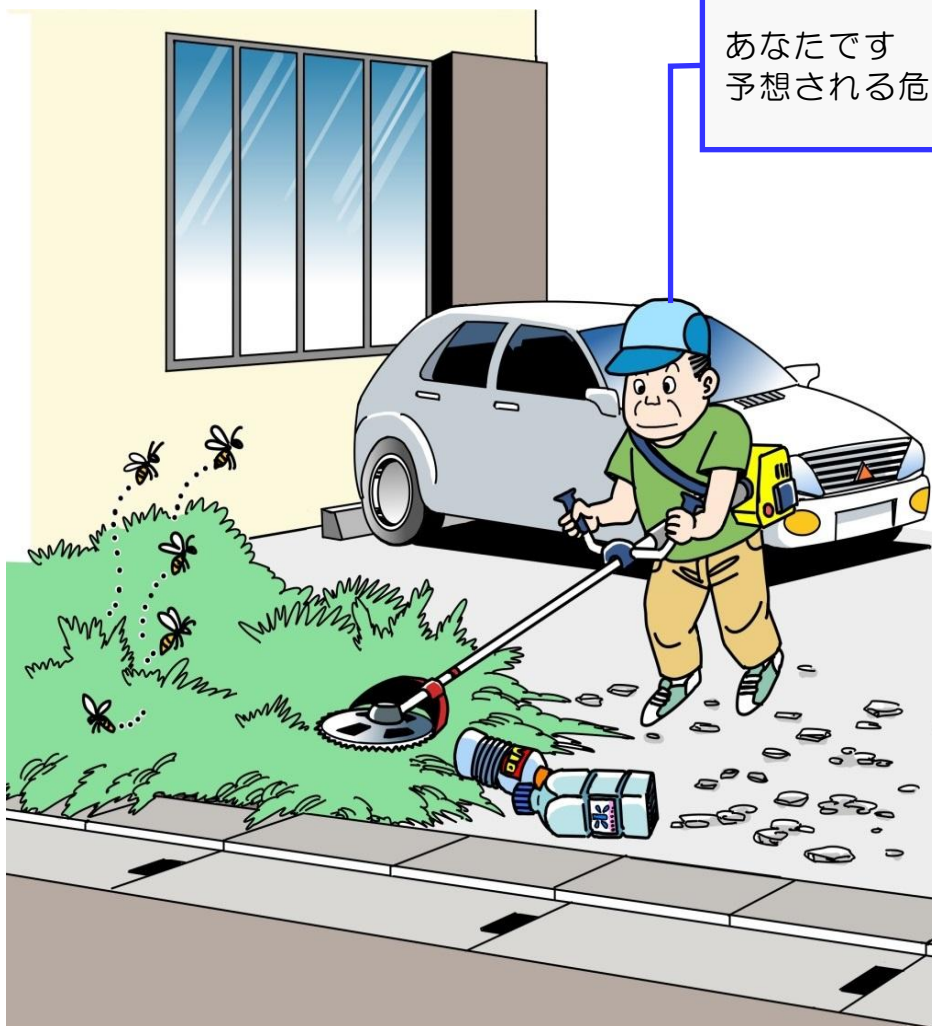
当センターは毎年、事故発生ゼロを目標にしています。

会員の皆さんの安全意識の高揚と安全文化の定着を図り、KYT を実践していただきたいと思
います。今回は以前に掲載した続編になります。

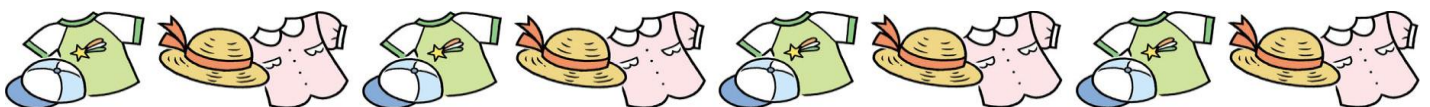
KYT とは、**危険の K**、**予知の Y**、**訓練(トレーニング)の T** から頭文字を取っており、作業中に
潜む危険要因を発見し、起こりうる現象を解決する能力を高める訓練のことを言います。本来、作
業開始前に全員で作業に潜む危険の芽を見つけ出し、事故防止を図るものです。以下の作業状
況を示すイラストを見ながら危険の芽を見つけ出してください。

どのような現場であっても危険は潜んでいます。作業を開始する前にどのような危険が潜んでい
るか、その危険に対してどのような対策をとればよいかをいつも考えて作業を開始してください。

イラスト内の危険の芽については、下欄の回答をご参考下さい。



※本イラストは、公益財団法人東京しごと財団が作成したものを、許可をいただき、使用しております。



【回答】①長袖シャツ・保護帽・保護眼鏡・腰当等の防護衣未着用 ②蜂対策 ③石やペレット未回収 ④家や車に対する飛石対策 ⑤歩行者に危険を知らせる看板等が未設置 ⑥段差